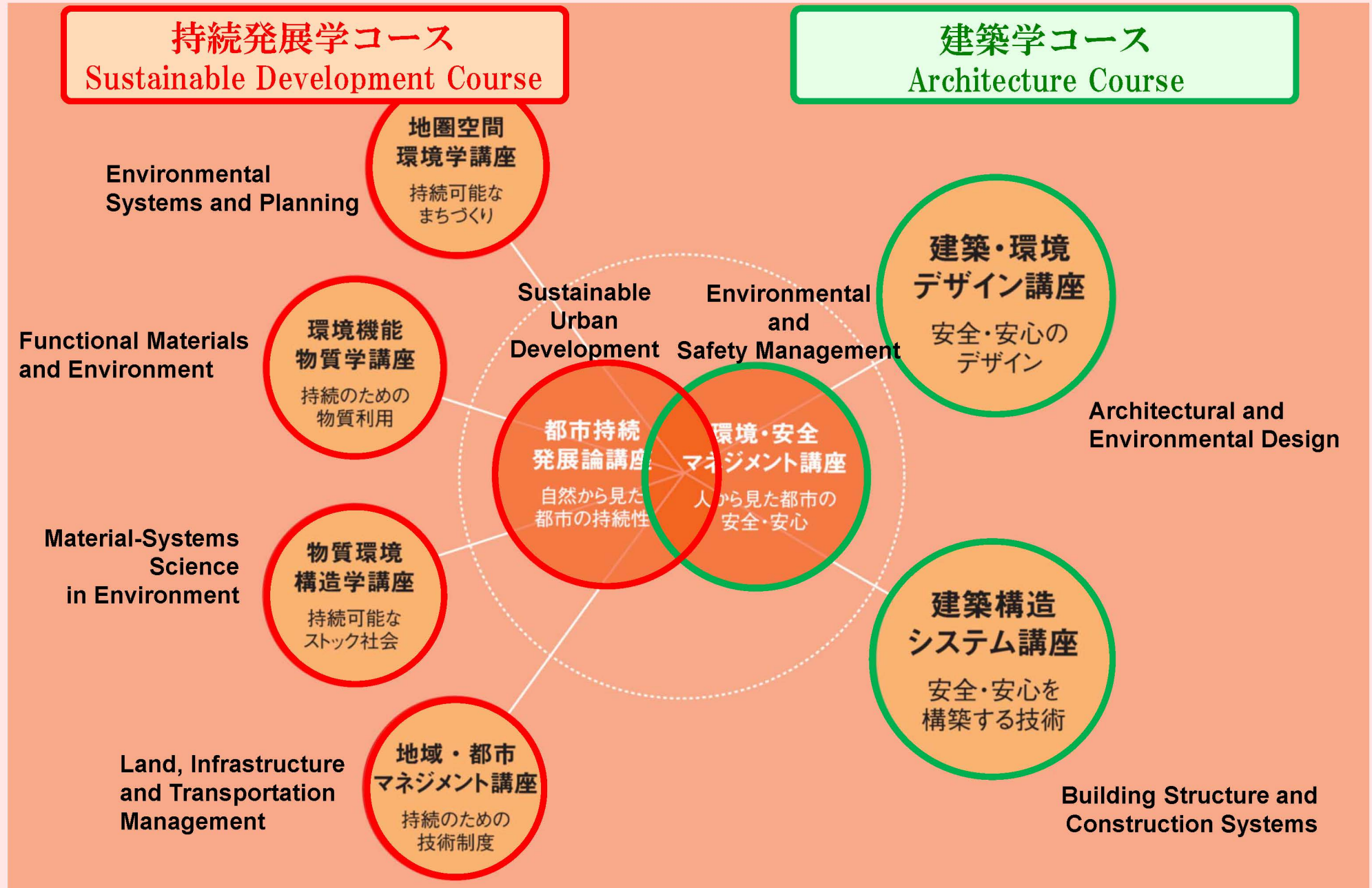


# 都市環境学専攻



*Department of Environmental Engineering and Architecture*



公式HP



YouTube



いなべ市立石榑小学校の改築計画・運営支援  
Planning and Management of Public School  
公共建築賞優秀賞 (2010年) 他、受賞多数



亀山市立川崎小学校の改築計画・運営支援  
(2012年～現在)  
Elementary School Rebuilding Project

## ●教育研究分野 : Research Field

建築計画、居場所、用途廃止建物の利活用

Planning on Architecture / Ibasho / Reuse of decommissioned buildings

## ●研究テーマ : Recent Research Theme

・まちの居場所としての公共建築・空間計画

Planning of Public Architecture and Space as "Ibasho"

・用途廃止建物の地域拠点としての計画・運営・マネジメント

Planning, Operation, and Management of decommissioned buildings

現場での共感と対話をベースに、人口減少・少子高齢時代の市民主体の公共建築・空間の研究を進めています。またその成果を、実際の構想・計画・設計等に展開しています。



「地区の家」と  
「屋根のある広場」

イタリア発・公共建築のつくりかた

小松尚  
小篠隆生  
共著

鹿島出版会

# 室内温熱環境・換気、温冷感・熱的快適性、省エネルギーに関して研究しています

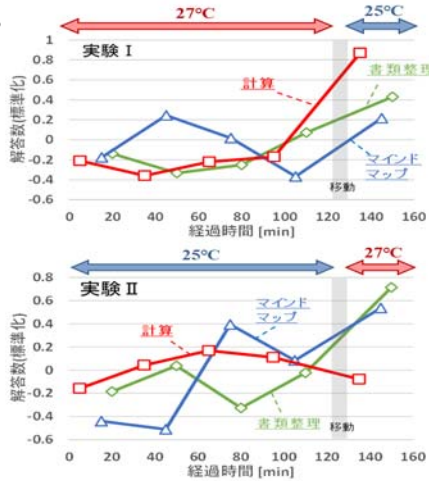
齋藤輝幸



大学院環境学研究科都市環境学専攻

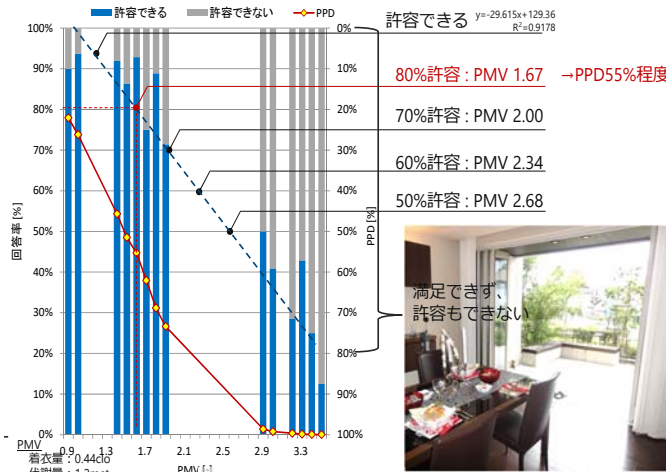
## 【オフィスにおける場所選択行動と知的生産性】

室移動と室温変化が執務者の知的生産性や生理反応に及ぼす影響を検証し、オフィスの最適化を目指す。



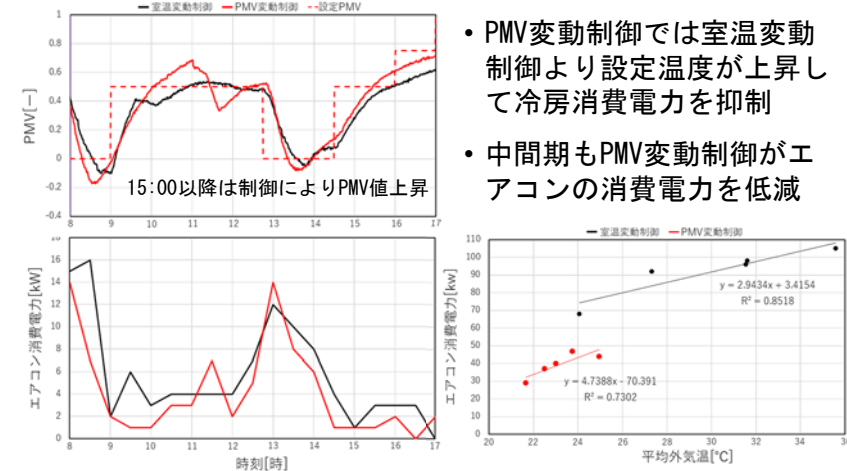
## 【住宅における夏期自然通風時の快適性】

夏期通風時の快適性評価を行い、どの程度の気温まで気流による快適性が得られるか検討



## 【PMV変動制御の省エネルギー性評価】

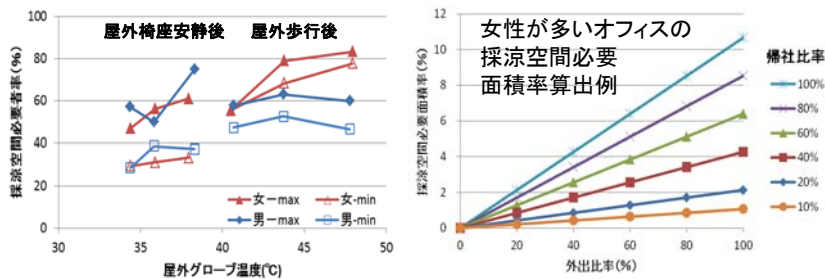
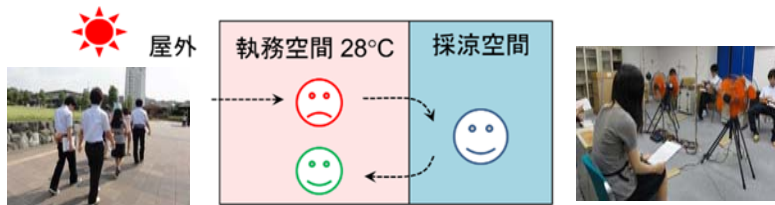
予想平均申告PMVを用いてオフィスの設定温度を細かく調整し、過度な冷暖房を防いで空調の省エネルギー化を図る。



- PMV変動制御では室温変動制御より設定温度が上昇して冷房消費電力を抑制
- 中間期もPMV変動制御がエアコンの消費電力を低減

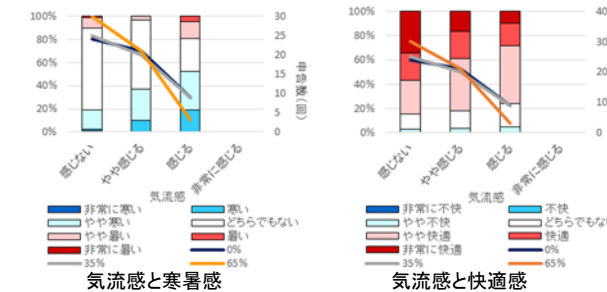
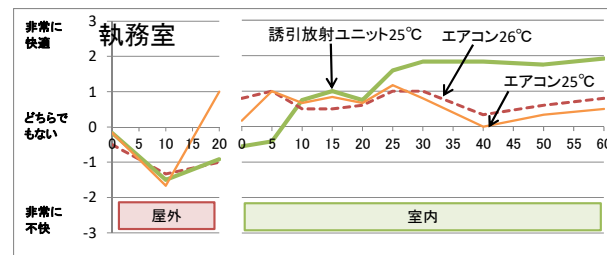
## 【夏期における“採涼室”の利用効果】

夏期屋外から入室時における採涼室の利用効果を確認し、採涼室の設計資料を整備



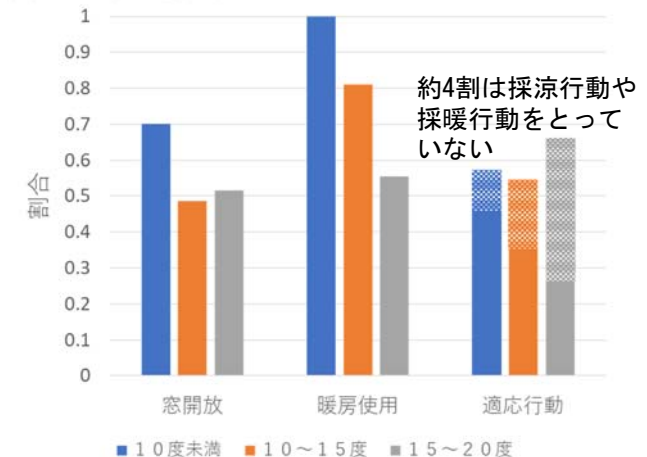
## 【放射空調の快適性評価】

オフィスや大学講義室、住宅などにおける放射空調の快適性を評価



## 【オフィスにおける快適性と適応行動】

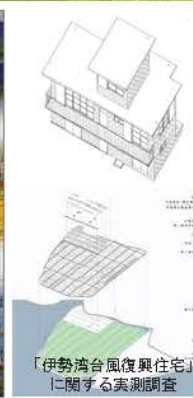
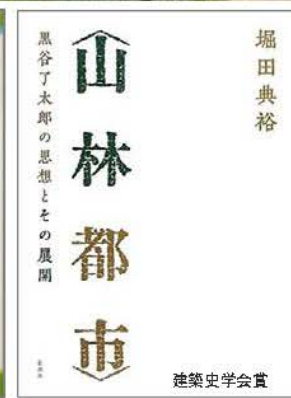
一年を通じたオフィスの熱的快適性と適応行動に関する調査を実施



適応行動の内、「上着を着る」「温かい物を飲食する」等を採暖行動、「上着を脱ぐ」「冷たいものを飲食する」等を採涼行動とした。



地方都市の市営合葬墓とランドスケープのデザイン



International Competition for Rehabilitating Mapo Oil Depot into Cultural Depot Park, Honorable Mention



低層集合住宅のリノベーション



応急患者駐車場を備えた郊外のクリニック

## 建築設計に関する理論および実践

### Theory and Practice of the Architectural Design

近現代の建築家による優れた建築作品に関する形態分析を行うことによって、建築家の造形原理とその表現手法を追体験し、作品制作のための新たな理論とその表現方法を構築することを目標としています。

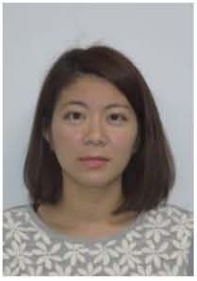
## 環境概念から見た近現代建築史の再構築

### Reconstruction of the Modern and Contemporary Architectural History in terms of the Environmental Concept

近現代の建築と都市に関する環境概念の変容と、その現象である風景について考究することによって、建築史および都市史の再構築を行うことを目標としています。

# 鵜飼 真貴子

都市環境学専攻 准教授

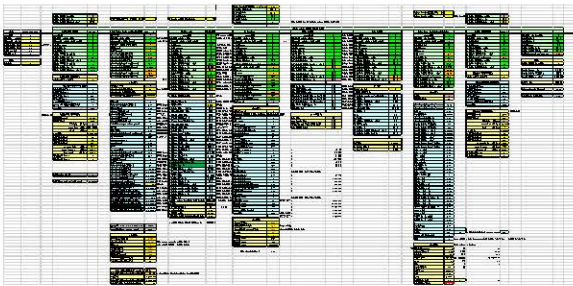


Makiko UKAI, Associate Professor, Graduate School of Environmental Studies

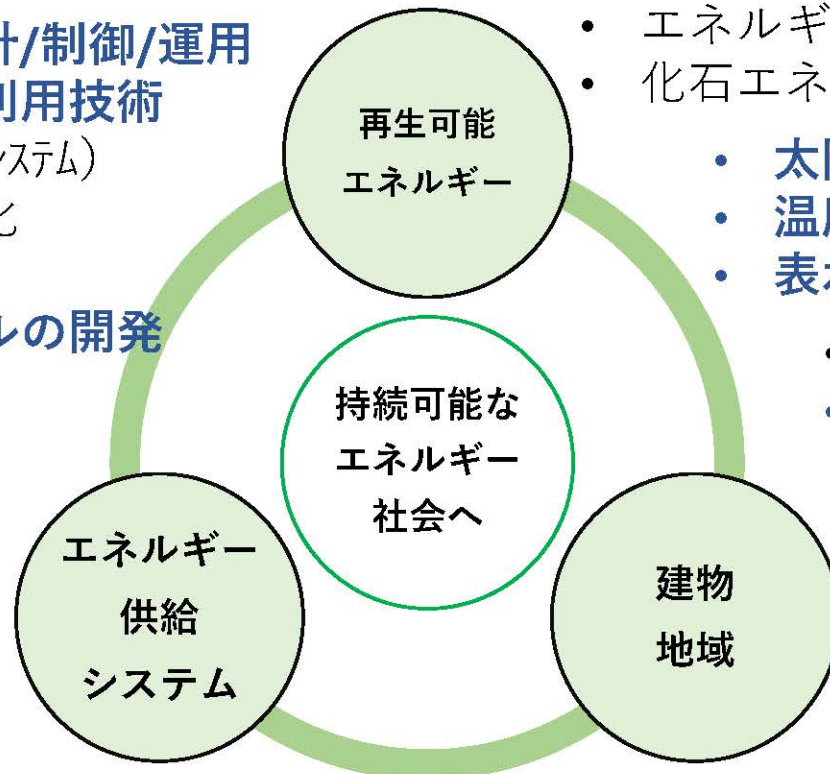
## 持続可能なエネルギー社会の実現を目指して

- 空調熱源システムの設計/制御/運用
- 革新的エネルギー高度利用技術  
(ヒートポンプ やコージェネレーションシステム)
- エネルギー利用の合理化
- 実測データの活用
- シミュレーションモデルの開発

- エネルギーセキュリティの強化
- 化石エネルギーへの依存度低下
- 太陽エネルギーの利用
- 温度差エネルギーの利用
- 表水/地下水などの利用
- 環境共生建築
- ZEB/ZEH



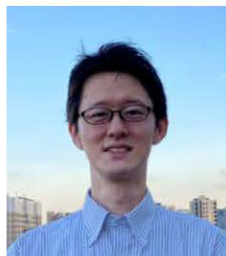
国土交通省官庁営繕部が公開しているLCEMツールにおけるシミュレーションモデルの制御開発例



① エネルギー消費量削減の試み  
・ 負荷の抑制  
・ 自然エネルギー利用  
・ 設備システムの高効率化  
② 再生可能エネルギーの導入

- エネルギーマネジメント
- 建物のライフサイクルに基づくエネルギー性能評価

# 山崎 潤也 Junya Yamasaki



環境学研究科 都市環境学専攻  
建築・環境デザイン講座 助教

**専門分野:** 都市環境工学・都市計画/まちづくり・環境影響評価

**Keywords:** 気候変動影響/適応策・CFD解析・GIS・エリアマネジメント・LCIA (Life-Cycle Impact Assessment)・地方自治体

環境課題を空間的に捉えることに関心があり、近年は主に都市環境工学と都市計画を連携させた気候変動対策のあり方について研究

My interest lies in understanding environmental issues from a spatial perspective, and I'm currently conducting a study on climate change measures that integrate environmental engineering and urban planning.

## 気候変動下の市街地を対象とした温熱環境予測

市街地の将来像をシナリオ別に予測し、気候変動下の屋外温熱環境をシミュレーションにより可視化

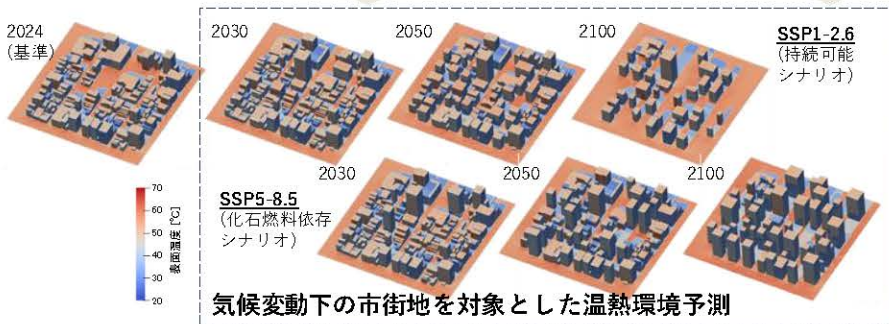
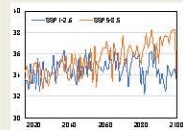
### シナリオ別の市街地形態設定

まちづくり関係者を中心とした議論に基づいて地域の実情を反映した将来像を設定



### シナリオ別の気象条件設定

全球気候モデルよりダウンスケーリングされた将来気候予測データを参照



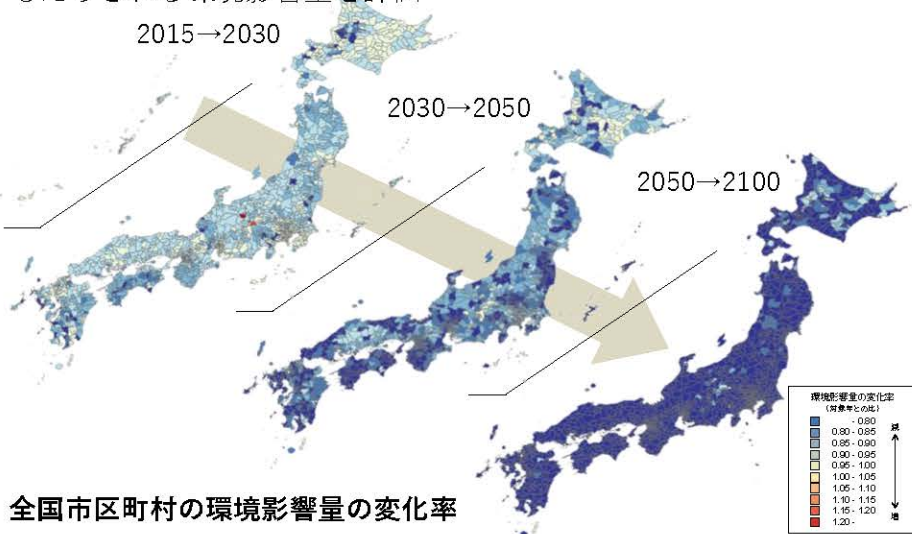
## 将来的な土地利用構成の環境影響評価

日本の将来的な土地利用構成をシナリオ別に予測し、その推移よりもたらされる環境影響量を評価

2015→2030

2030→2050

2050→2100



## 気候変動対策に向けたまちづくりの実践

気候変動適応まちづくりワークショップ手法を開発し、名古屋市内の市街地にて多主体参加型で実践



# 建築・都市の省エネルギー化とマネジメント

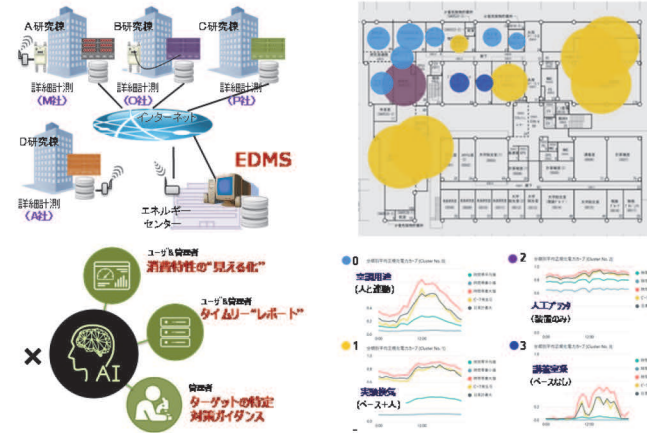
NAGOYA UNIVERSITY

都市環境学専攻 建築・環境デザイン(協力教員)/施設・環境計画推進室 田中英紀

## エネルギーマネジメント (EM)

### エリア・エネルギーマネジメント

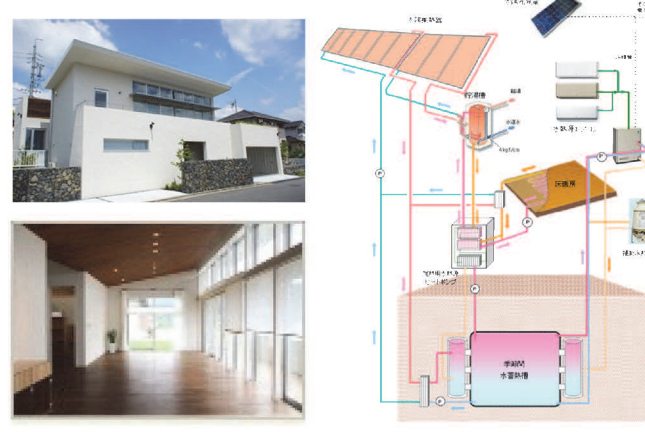
地域冷暖房エリア, 大学キャンパスなどの建築群エネルギー管理手法の提案とエネルギー使用データの集約・分析システムの開発などを行っている



## 次世代建築の構築・設備制御

### 建物のトータルエネルギーシステム

太陽光発電, 太陽熱, 冷暖房廃熱回収, 地中熱など、自然エネルギーをフル活用したトータルエネルギー住宅やビルを提案し、性能評価を行っている



## 建築設備の環境性能評価

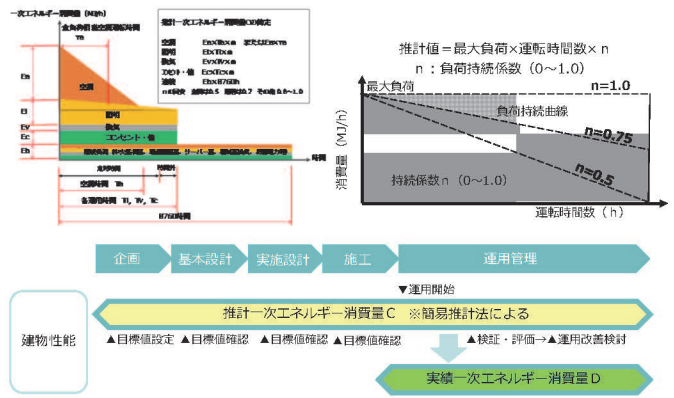
### 建築設備の環境・エネルギー評価

建物エネルギー消費分析や導入された新たな要素技術の熱的性能・室内環境性能・エネルギー性能などの評価および評価ツール開発を行っている



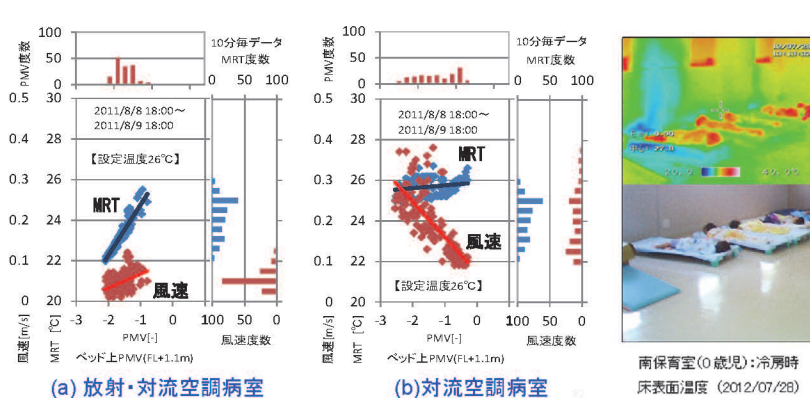
## 既存建物のエネルギー管理手法

公共建築物を中心に既存建物の省エネルギー達成を促すためのエネルギー管理手法の開発を国と連携して行っている



## ウェルネス空調と人体・エネルギー評価

働き手の健康増進・快適性の向上を目指したウェルネス空調に関する室内環境性能・人体影響・エネルギー性能など総合的評価を実施している



## 病院空調システムの省エネルギー化

医療施設の空調システムのあり方と省エネルギー方策を実践的に研究している。気化式加湿の長期衛生的評価と省エネルギー効果を検討している



# 恒川 和久 Kazuhisa TSUNEKAWA

## 建築・環境デザイン講座・教授 / 施設・環境計画推進室・室長

Professor, Architectural and Environmental Design / Director, Campus Planning & Environment Management Office



30年後の東山キャンパス  
Campus Master Plan 2016



ES総合館 2011

### ● 大学施設・キャンパスの整備・運用と研究・検証

- ・ キャンパスマスタープランの策定と実行
- ・ ファシリティマネジメントの実践
- ・ 各種建物・環境の企画・設計
- ・ 教育研究環境に関する研究
- ・ トータル・ビル・コミッションング

2015年 日本建築学会賞（業績）

2016年 サステイナブルキャンパス・プラチナ評価

2017年 インフラマネジメント大賞・文部科学大臣賞



### ● 建築計画・地域計画～公共施設に関わる研究と実践

- ・ 公共施設のあり方やそのマネジメント
- ・ 利用者アクティビティとキャパシティに基づく施設再編
- ・ 公共施設の利用圏に基づく立地論
- ・ 市民との合意形成によるまちづくりや施設計画プロセス
- ・ 縮小時代の都市計画・地域計画

愛知県各自治体公共施設データベース・GISの構築

西尾市・公共施設再配置実施計画「まちづくり未来塾」、西尾市方式PFIへの協力

名古屋市・施設保有資産量の適正化に向けた評価指標の策定

蒲郡市・公共施設マネジメント実施計画「若者まちづくりミーティング」

日進市、知立市、小牧市、新城市、豊川市など：公共施設等総合管理計画策定



# 李燕 (リエン) Yan Li

工学部施設整備推進室 講師  
都市環境学専攻 建築・環境デザイン (協力教員)

- ・名古屋大学の工学部施設整備推進室に所属し、大学のキャンパス計画や各種施設の企画・設計・運用に関わる業務支援を行っている。
- ・環境学研究科建築学の協力教員として、公共建築を中心とした教育・研究を行っている。

## キャンパス施設の計画・設計



東海国立機構産学連携拠点 TOIC の監理 (推進室協力)



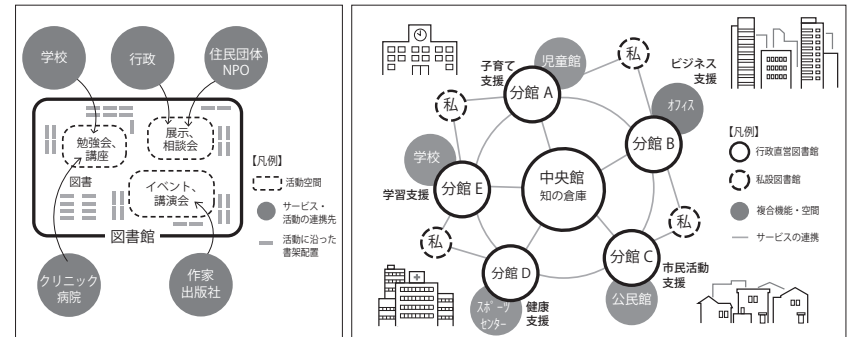
工学部 8・9 号館改修設計、監理 (推進室協力)



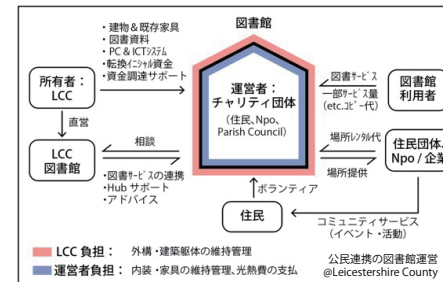
名古屋大学キャンパスサイマル 2024 策定

- ・キャンパスの計画
- ・大学施設の企画・設計・運用

## 公共建築や公共空間、図書館計画に関する研究



地域コミュニティの活動拠点となる図書館の空間・運営 (2024~)



公民連携によるイギリスのコミュニティ図書館 (民営図書館) の運営システム

- ・縮小社会における建築のあり方
- ・施設再編、各種施設の空間計画
- ・図書館の多機能化、空間計画、運用など

### 教員Profile



[https://profs.provost.nagoya-u.ac.jp/html/100012003\\_ja.html](https://profs.provost.nagoya-u.ac.jp/html/100012003_ja.html)

### 研究室HP



<https://opelilab.wixsite.com/yanli>

李研究室では、都市や建築の空間形態に着目しながら、それが人々の生活やアクティビティに与える影響を理解することで、空間形態がもつ意味を明らかにします。  
学生には現場に軸足を置いた実空間の調査研究を通じて、人の活動に対する建築の役割を検証し、新しい都市や建築の計画・設計に関する知見を得ることを目指していただきます。



平 裕  
TAIRA Yu

名古屋大学  
施設・環境計画推進室 講師  
環境学研究科 都市環境学専攻 建築・環境デザイン講座 協力教員

Nagoya University  
Lecturer, Campus Planning & Environment Management Office  
Affiliated Faculty, Department of Environmental Engineering and Architecture

略歴 | Career

1987年北海道生まれ、2010年早稲田大学理工学部建築学科卒業、2012年早稲田大学大学院創造理工学研究科建築学専攻修了、2012年株式会社アトリエバンク、2019年北海道大学特任助教を経て、2026年より現職。一級建築士。

Born in Hokkaido in 1987. Earned a Bachelor's degree in Architecture from the School of Science and Engineering, Waseda University in 2010, and a Master's degree in Architecture from the Graduate School of Creative Science and Engineering, Waseda University in 2012. Worked at Atelier BNK Co., Ltd., and served as a Specially Appointed Assistant Professor at Hokkaido University before assuming the current position in 2026. Licensed 1st-class Kenchikushi (Japan).

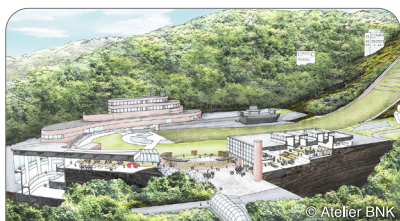
専門分野 | Fields of Study

建築設計  
Architectural Planning and Design

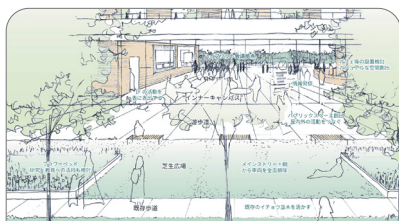
キャンパス計画  
Campus Planning

サステナビリティ  
Sustainability Management

主な仕事・活動内容 | Works Review



建築物の調査・企画  
Architectural research & planning



キャンパスマスタープラン関連業務  
Campus master plan development & delivery



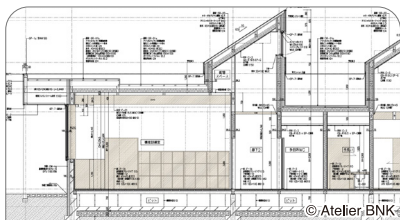
大学施設のファシリティマネジメント  
University facility & asset management



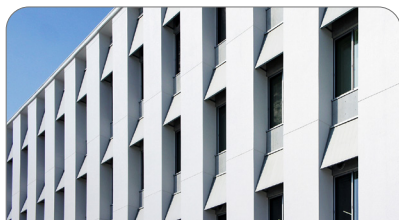
大学のカーボンニュートラル推進業務  
Architectural design & construction supervision



大学における建築設計教育  
Architectural design education



建築物の設計・工事監理  
Architectural design & construction supervision



大学施設のデザインマネジメント  
Campus project design management



大学施設のガイドライン等の策定  
Architectural design guideline development



サステナビリティ情報開示業務  
Sustainability information disclosure



キャンパス計画に関する研究  
Campus planning research